

仕事を通じて感じる事

齊藤 隆

シルバー人材センターに入会し「ふれあい広場」のスタッフとして加えさせていただきました。メンバーの方々は経験も豊富なので云われた事をやるのが精一杯でした。私の仕事は高齢者の方（自分もそうだが・・・）のお世話が中心で、長生荘で行われる行事への参加者を、ご自宅から送迎するのが仕事のひとつです。

慣れない頃は漫然と送迎をやっていた。退屈な時もありましたが、やがてすぐ慣れ、送迎車の中で皆さんにやさしく声を掛けられました。家族の事や畑仕事の事など話に花が咲き、すっかり打ち解ける事ができました。やさしく接すれば、それが自分に数倍になって戻ってくる事がわかりました。会話の中で自分を見つめ直す時間をもらった気がしました。

ふれあい広場のメンバーに仕事を教えてもらい、和気あいあいとしたチームワークを醸成し、相互連帯と協力でこれからも人にやさしく、責任を持って仕事に取り組んでいきたいと考えます。



趣味..張り子人形を作る

浅見 和雄

昔から張り子人形には興味がありまして、旅先ではお気に入りの張り子人形があれば買ってくる事があります。3年位前、水戸黄門と助さん格さん3人が揃った張り子人形を買って来たことがありました。但し頭が動いたりはしません。やはり手で触れると頭が揺れるのに魅力があります。

私は以前から町のマスコット人形（ミーナ）の張り子人形を何とか作って見たいと思っておりました。それには、手で触れると頭が揺れないと面白くないと思い、昨年の冬頃から試行錯誤しながら挑



戦してきました。何とか出来そうだと思えるようになって町から許可を頂き、現在、涼しい日には作っております。とにかく根気と手間が掛かります。

出来たミーナの張り子人形を長生荘に寄贈しました。ミーナの頭をどんどん触ってください。左右捻じっても大丈夫です。触れてもらえれば喜びます。

聖路加国際病院元理事長ドクター 日野原重明さんが生前、新聞などで言っておられました。「私は引退して悠々自適に過ごそうと思つた事はない。人は挑戦する限り老いしない。」「年を取ったから引退するのではなくこれまでやったことのない未知のものに挑戦してほし

「安全最優先で就業してください」

会員が就業中の事故に遭わないように、ケガをしないように。

就業事故「0」はセンターとして最優先で取り組む課題です。

慣れから来る安全作業意識の欠如、加齢に伴う身体機能低下等による事故が発生しています。

会員一人ひとりが、自分だけは大丈夫と過信せず、もう一度安全作業を心掛け、常に周囲に気を配り仕事をしましょう。

い。挑戦すれば才能は開花する。」と。そして哲学者のマルチン・ブーバーは「人は創（はじめ）ることを忘れない限りいつまでも若いな

い。」と言っていました。

皆さんそれぞれ趣味を持つて頑張っておられると思います。私も頑張りたいと思います。